

※首都圏直下・南海トラフ等大地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024年1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましても、2023年12月31日の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、水深補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。

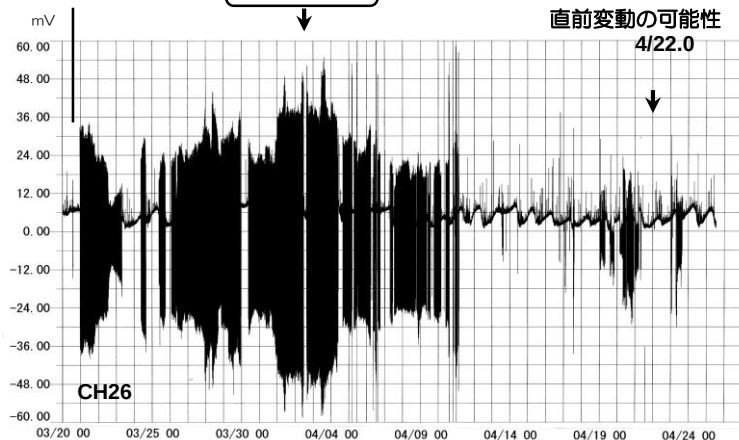
Stage-33は、 3/20±1を示す

No1778長期変動 CH20に顕著特異 2種の可能性 早い場合=4/26 or 27

Stage-34

→ 初現 3/20.6 ← 極大 4/2.5 → 4/26 (4/26～29) 発生の可能性

図1



◆CH26は図1に示しましたとおり、4/22中心に顕著特異が短期間再出現。PBF特異は途切れ目なく継続出現しています。PBF特異の静穏化を待っていましたが、静穏化せず、昨日から突然、ハヶ岳のCH20に図2のとおり顕著特異が出現し、現在も継続中です。この観測事実に対し、2種の可能性を検討しました。

◆可能性①

図1のCH26の初現はそのまま、極大を今までは4/3.6としていましたが、一番顕著になった部分はほぼ一定で、ちょうど中心に隙間が空いている様に変動が短時間静穏化している時間帯があります。→4/2.5 これを極大と認識しなおしますと 4/26±3 を示します。また4/22中心に再出現した顕著特異変動を直前変動と仮定しますと、4/26±2 を示し、調和します。また昨日

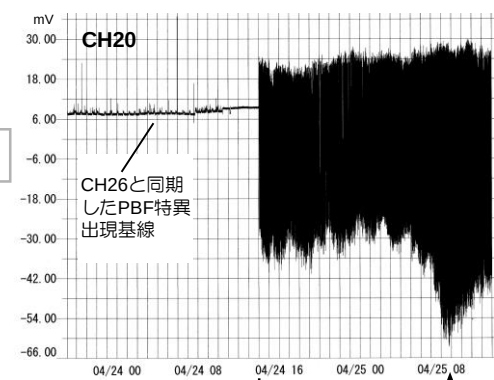
から出現したCH20の顕著特異は、3/26、3/28、4/14、4/19に各数十分程度の顕著特異が出現していましたが、今回出現の顕著特異は継続時間も顕著さも比較にならないため、今回の顕著特異の初現を昨日の14時=4/24.6とし、現在まで一番変動値が大きい本日4/25の09時=4/25.4を極大として Tfp:Tmap=20:13 経験則を使用しますと4/26～27を示します。従ってCH26とCH20両方から4/26or27に対応地震発生の可能性が示唆されることになります。但し、CH26のPBF特異は静穏化しておりません。CH20の顕著特異の推定静穏化時期=4/26深夜までCH26のPBF特異は静穏化しない可能性か、または継続出現したまま地震発生となるか不明です。

◆可能性②

PBF特異が静穏化していないことから、静穏化するまで対応地震は発生しない可能性。この場合は、CH20の顕著特異は現在の極大で

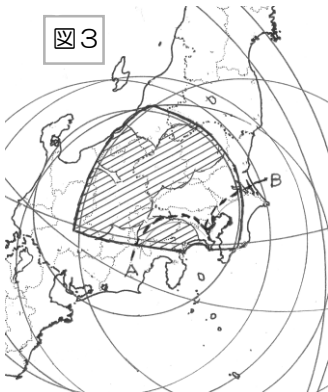
過去に出現した3/26が初現か、または今後さらに顕著な変動値が現れ極大となるかのいずれかの可能性となります。4/26-27(～29迄)に対応地震が発生しない場合は、可能性②で検討します。

図2



初現 4/24.6 ← 極大 4/25.4 → 4/26 or 27 発生の可能性

図3



●推定領域：図3の太線領域内=大枠推定領域

図3斜線域=可能性が考えやすい推定領域

震央が火山近傍領域を含む可能性高い

●推定規模：主震 M8.0±0.3 または

複合の場合=M7.3±0.3 + M7.1±0.3 他等

Log L=0.5M-1.8 (Utsu.) 式で 余震を含まない大型地震の断層長 Lkmが合計で

約110～150km程度となる様な複合地震活動の可能性（群発的な活動の可能性も有）

※直近で噴火の可能性が考えられる変動はないため、現状では震央近傍火山の噴火の可能性は考えにくい。

●推定時期：4月26日 or 27日 (～4/29まで) 可能性①

上記時期に発生が無い場合は可能性② 今後の観測で修正予定

○推定地震：震源浅い陸域地殻地震

○推定発生時刻：午前09時±2 or 午後06時±3

※30年の観測で初めて体験する長期継続変動のため推定が間違っている可能性も否定困難

A～B弧線以南の可能性は極めて低い

※仮に推定に近い活動が生じた場合でも被害が少ないことを祈ります。